



協栄信用組合 仲町支店
支店長代理
かとう ゆうぞう
加藤 雄三さん

**経営者が抱える悩みを
外部人材と解決**

地域金融機関は、財務面での支援のほか、経営面での助言といった経営者の相談相手としての役割もあります。「地域の人事部@燕」でも

興味を持った企業から相談を受ける窓口になっています。昨年度、取り組んだ企業には、外部人材の選定にあたり、エントリーシートと一緒に確認して、面談にも立ち会い、アドバイスをしたこともありました。

このような伴走支援は以前から行っていますが、各社が取り組んでいる専門的な課題には直接、助言することは困難でした。また、外部人材の情報も多く持ち合わせていないため、人材のマッチングに

よる課題解決への支援も難しくなったところ。 「地域の人事部」の話を聞いた時には、スゴイ取り組みだと感じました。これまで、経営者の中でくすぶっている悩みも、外部人材の受け入れという新しい手段で良い方向に動くのではないかと期待しています。

各団体が協力し、企業と外部人材のマッチングを支援する環境が構築されました。取引金融機関などに相談することもおすすめです。

●令和4年度（実証事業1年目）のマッチング実績

（掲載：五十音順）

企業名	マッチングした外部人材	課題解決に向けた取り組み
(株)エンテック	キャリアコンサルタント 1人	若手社員中心に職場環境改善やビジネスチャンス拡大のプロジェクトチームを発足し、推進中。
(株)新越ワークス	ウェブディレクター 1人	自社ブランドサイトのバージョンアップに向けて、作業を進行中。
大洋金属(株)	企業経営コンサルタント 1人	商品開発や販路拡大を目指し、展示会の視察や情報収集を実施中。
燕器工(株)	ディレクター 1人 キャリアコンサルタント 1人 マーケティング専門家 1人	新商品開発に向け情報収集と企画立案中。また、人事評価の見直しを議論し、制度改築に取り組む中。
燕物産(株)	プロダクトデザイン会社経営者 1人	商品開発に向けて動き始めたところで、デザインコンクールにエントリーしている。
(株)丸山組	キャリアコンサルタント 1人	企業理念を見直し、会社としてやりたいことを再確認するとともに、具体的な人事評価制度を構築中。
ミノル製作所(株)	プロダクトデザイン会社経営者 1人 ブランディング専門家 1人 プロジェクトマネージャー 1人	EC サイト構築や展示会出展、チラシ作成、オープンファクトリーの開設を行った。



燕市産業振興部
部長
わか い なおき
若井 直樹

**『人への投資』が
企業の発展に**

昨年度、燕市は経済産業省が進める「地域の人事部」の実証地域の一つとして選ばれました。

業の集積地であること。そして「つばめ産学協創スクエア」をはじめとする、地域内で人材確保を支援し合う環境ができていたことなどが考えられます。

1年目は7社で、計11人の外部人材とのマッチングが成立しました（下表参照）。7社で取り組まれている課題は、いずれも生産性の向上や付加価値を高める取り組みにつながっており、効果は大きいと思います。

2年目は経済産業省と共に

行う実証事業と並行して、自走化に向けた協議会を立ち上げ、「地域の人事部@燕」が開始しています。

燕市の協議会の役割は、経済産業省とのパイプ役や協議会関係者との調整、市内への情報発信などを担っており、市内企業の人材確保をバックアップしています。

今後は、この支援と併せて、企業の発展のための「人への投資」に市内企業の理解が深まるよう推進していきたいと考えています。

特集

地域で支える企業の発展

～地域の人事部@燕～

「地域の人事部」とは、経済産業省が推進している取り組みで、地域の企業が自治体・金融機関・教育機関などの関連機関と連携し、人材の獲得・育成・定着を行うものです。この取り組みの一つに副業・兼業人材とのマッチングがあります。近年、副業解禁が進んできていることを背景に、スキルや知識、ノウハウを持った人材を企業の発展に活用しようという狙いがあります。

令和4年度、全国に先駆けて燕市は、この「地域の人事部」の実証地域に選ばれ、取り組んできました。2年目の今年は、実証事業から自立した運営（自走化）への移行を目指し「地域の人事部@燕」が始動しています。

副業解禁について

平成29年に政府主導の働き方改革実現会議で企業も働く人も安心して副業・兼業に取り組むことができるよう環境整備していくことを「働き方改革実行計画」として決定。翌年の平成30年には厚生労働省が「副業・兼業の促進に関するガイドライン」を作成しました。

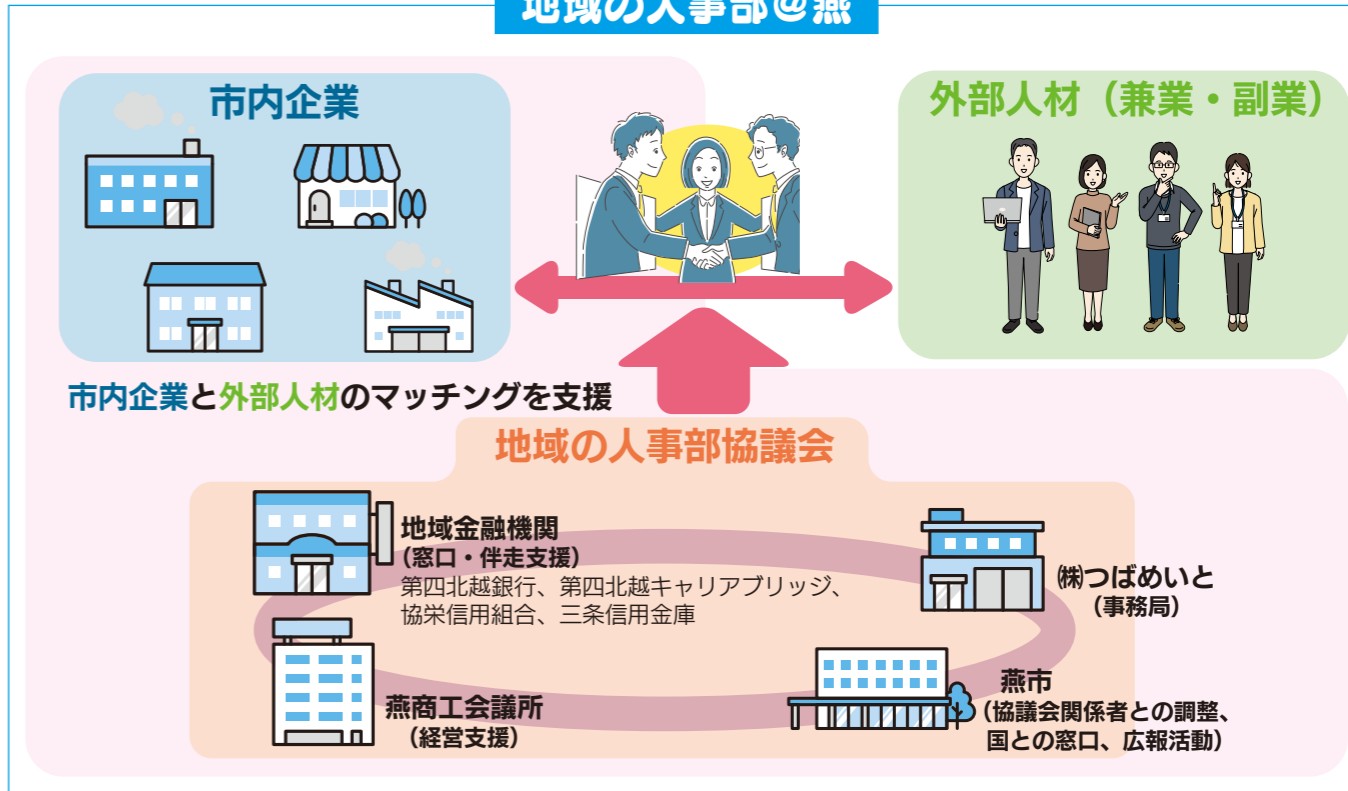
これらの動きを発端に副業・兼業を認める企業が大企業を中心に増えました。この副業解禁の流れは、現在、中小企業にも広がり、一方で外部人材を活用する企業も増えています。

燕市での取り組みは？

昨年度、燕市では市内企業と専門スキルを持った副業・兼業人材をマッチングするため、関連機関で構成する「地域の人事部協議会」を発足させました。

「地域の人事部@燕」として市内企業の発展のため、あらゆる専門分野の人材確保を支援しています。

地域の人事部@燕



「地域の人事部」で昨年、外部人材とマッチングし、課題解決に向け、現在プロジェクト進行中の燕器工株式会社。相場社長と外部人材の柳井さんに今回の取り組みについて話を伺いました。



燕器工株式会社
代表取締役
あいば ひろみ
相場 大史さん

令和3年6月から現職。
燕商工会議所青年部の副会長も務める。



燕器工株式会社
燕市八王寺 1599

30年以上にわたり、プレス加工業としてステンレス、チタン、アルミ製品の企画・開発の段階から製造まで請け負っている。

「今、お持ちの課題を教えてください。」

会社の成長のため、既存の受託生産の他に、自社オリジナルブランドでの製品開発・販売と、人事評価制度の導入です。

「これらの課題は、「地域の人事部」の取り組みに参加する前には、どのように解決しようとしていましたか」

社内で解決策を出すか、自分でどうにかするしかないと思っていました。昨年、「地域の人事部」のセミナーに参加

した際、抱えている課題が解決できるかもしれないとすぐに興味を持ちました。

「外部人材を受け入れることに懸念はありましたか」

私や社員と同じく、熱意を持って最後まで一緒にやってみようのか、コスト面がどのくらいになるのかが気になっていました。ですが、マッチング時に外部人材のエントリーシートを確認したり、面談したりするなかで、持っているスキル・ノウハウの他にも意気込みや報酬面の希望も把握

できたため、契約前に多くの懸念は払拭できました。

プロジェクトが始まってからも、会議のたびに素晴らしい資料作りと、プレゼンをしてくれて同じ目標を持てる人たちだと確信に変わりました。

「一緒に取り組んでいる外部人材は、どういった人ですか」

一つは、新商品開発をマーケティング専門家、ディレクター、デザイナーの3人と取り組んでいます。デザイナーはディレクターが紹介してく

れた人材です。

もう一つは、最適な人事評価制度の構築に向けて人事コンサルタントと取り組んでいます。

私は社内でも垣根なく社員と相談しているほうですが、外部人材の皆さんには、外か

らの視点で率直な意見をもらえる良き相談相手です。

「社員の反応はどうですか」

毎月、社員に進捗を説明しているところ、興味があるようで、細かい内容まで聞きに来てくれる社員もいます。

「今後について」

成果ができるのはこれからですが、今のプロジェクトが終わった後も外部人材の皆さんとは長くお付き合いを願っています。



「マッチングにエントリーしようと思った理由を教えてください」

新しい顧客やフィールドの開拓、ムーブメントを起こして社会の貢献に寄与できるようなプロジェクトになると思ったからです。

「一緒にプロジェクトをやってみて、会社の印象はどうですか」

相場社長は人格的に信頼でき、周囲の人と良好な関係を築きながら、新しいチャレンジに向かっているポジティブな印象です。新規事業への慎

「プロジェクトへの意気込みを教えてください」

私にとってもチャレンジングな取り組みでもあり、ワクワクしています。障害や壁が何度立ちまはるかと思いましたが、持ち前のポジティブな精神とこれまで何度も壁を打ち破ってきた経験や知見を活かして、このプロジェクトを成功に導きたいと思っています。



外部人材
【マーケティング担当】
やない たかひろ
柳井 隆宏さん
(神奈川県藤沢市在住)

中小企業の新規事業、マーケティングなどを支援。SNSで「キャンパスイコーおじさん」を活動中。

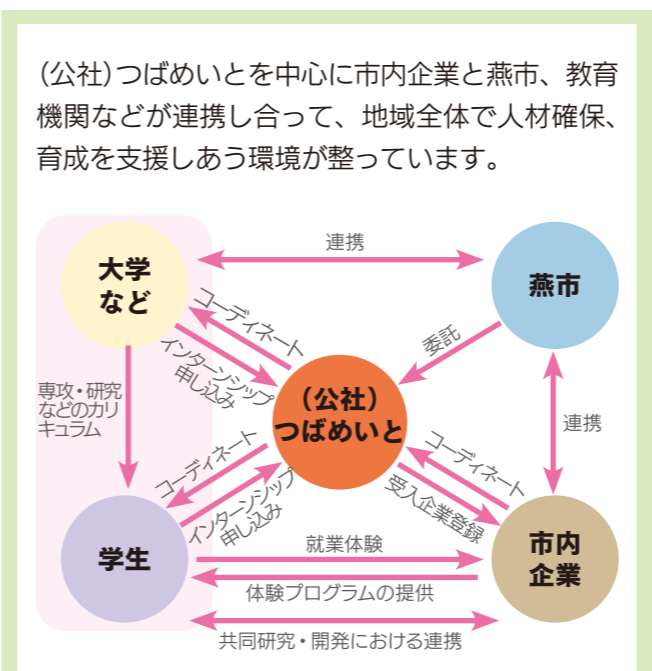
人材の獲得・育成・定着の取り組み支援

燕市では、外部人材のマッチング以外にも市内企業の発展のため、人材の獲得・育成・定着の取り組みを支援しています。新規事業や重点事業など、今年度を実施している支援をいくつかご紹介いたします。

人材の獲得

つばめ産学協創スクエア事業

この事業では、産業界、教育機関、行政などが連携し、学生のインターシップなどを通じて市内企業と交流する場を創出してU・ターン就労や創業の促進、人材育成に結びつけ、産業の振興と地域活性化を目指します。事業開始から7年目となる今年、日本最大級のインターシップアワードである「学生が選ぶキャリアアワード」において「地方創生賞」を受賞するなど、全国から注目されています。



人材の育成

基盤技術人材育成支援事業補助金

機械化になじまず、高度な技術力で手加工に依存される基盤技術において、技術の継承や自社での内製化を目的とした人材育成を支援する事業です。

高度な技術を要する基盤技術の習得にかかる、機械装置や材料、消耗品、指導にかかる謝礼などの費用の一部を補助しています。

「燕市磨き屋一番館」事業

金属加工産業の基盤技術である金属研磨業の後継者の育成のため、磨き屋一番館で3年間の技能研修を実施しています。金属研磨技術の伝承および地場産業の活性化に寄与することを目的としています。

人材の定着

職場環境実証事業支援補助金

【今年度の新規事業】

人材から選ばれる企業となることを目的に、働きやすい職場環境の整備を支援する実証事業です。実証事業で取り組まれた内容は、市内の他企業においても、同様に実施ができるように今後、レポートにまとめられ、広く展開されます。



▲その他の支援・補助制度の詳細はこちらから

■問合せ
商工振興課 産業支援係 ☎0256・77・8231